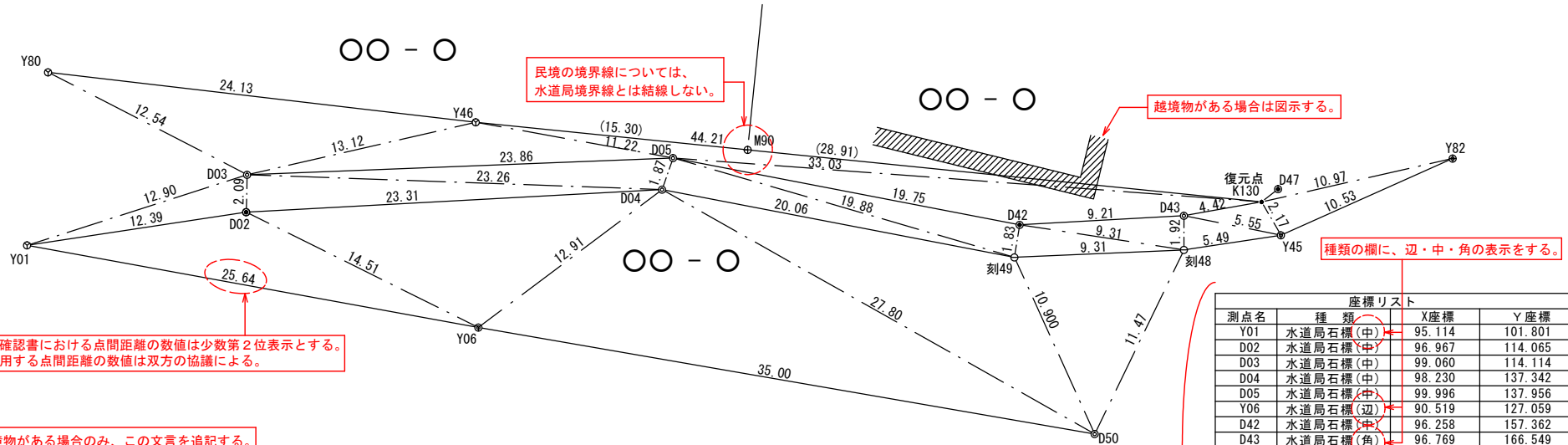
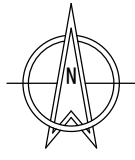


見本

土地境界確認書 縮尺1:250

〇〇区〇〇町字△△



土地境界確認書における点間距離の数値は少数第2位表示とする。また、採用する点間距離の数値は双方の協議による。

越境物がある場合のみ、この文言を追記する。

令和〇〇年〇〇月〇〇日 現地で立会いの結果、本測量図のとおり境界を確定し、また、これを証するため本確認書を2通作成し、両者記名押印の上それぞれ1通を保有します。

なお、境界点〇〇～〇〇間において、構造物(ブロック塀等)の一部が水道用地内に存置しているため、再構築の際は、当局と協議を行ってください。

座標リスト			
測点名	種類	X座標	Y座標
Y01	水道局石標(中)	95.114	101.801
D02	水道局石標(中)	96.967	114.065
D03	水道局石標(中)	99.060	114.114
D04	水道局石標(中)	98.230	137.342
D05	水道局石標(中)	99.996	137.956
Y06	水道局石標(辺)	90.519	127.059
D42	水道局石標(中)	96.258	157.362
D43	水道局石標(角)	96.769	166.549
Y45	水道局錆物杭(中)	95.677	171.980
K130	図上点	97.541	170.899
D47	道路局錆物杭(角)	98.259	171.821
刻48	刻印	94.854	166.554
刻49	刻印	94.441	157.067
Y80	水道局石標(中)	104.785	102.973
Y82	水道プレート(角)	99.967	181.596
Y46	水道局石標(中)	101.991	126.913
D50	道路局石標(角)	84.555	161.558
M90	石標(角)	100.451	142.135

使用している境界標のみ表示する。

水道事業管理者印が大きい場合、枠を3cm×3cmにする。

注) 座標を開いた結果と図面寸法が異なる場合があります。

注)の文言を座標リストの下に記載する。

所在	地番	住所	氏名	承諾印
〇〇区 〇〇町 字△△	〇〇-〇	6cm	6cm	3cm 水道事業 管理者印
	〇〇-〇	申請者住所・氏名		実印

筆界点	境界標の種類
○	水道局 鉄
○	水道局 石標
⊙	水道局 錆物杭
⊕	水道局 プレート
○	刻 印
⊙	道路局 石標
⊙	道路局 錆物杭
○	フ ラ
●	ずい道中心線
⊙	鉄 鋸杭
⊙	木 杭
⊕	その他 石標
●	金 属 標
-○-	図 上 点

所在		
縮尺	1:250	
作成者	〇〇測量(株) 土地家屋調査士 ×× 〇〇	印

※印鑑証明書添付